



磐田市立 豊田中学校
第1学年だより
No.12
平成29年6月23日発行

6/15（木）期末テストへの取り組みは、いかがだったでしょうか。

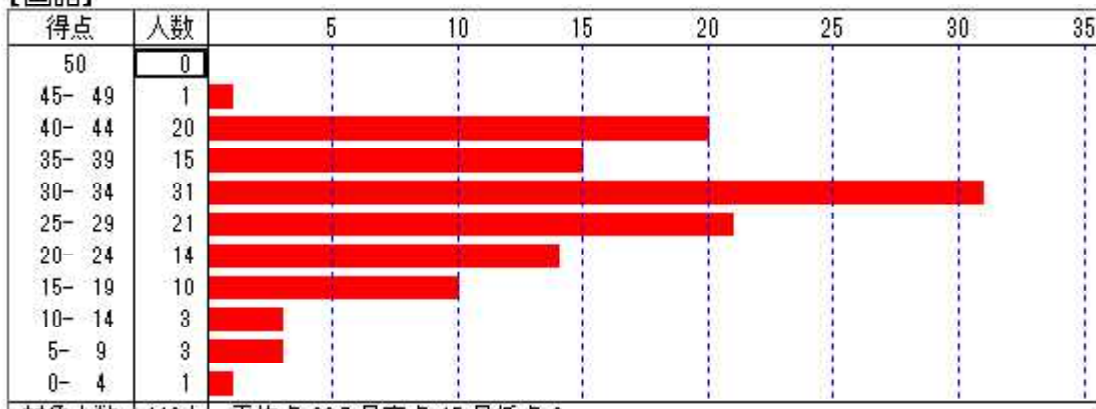


解答用紙から自分の頑張りをを見つけよう

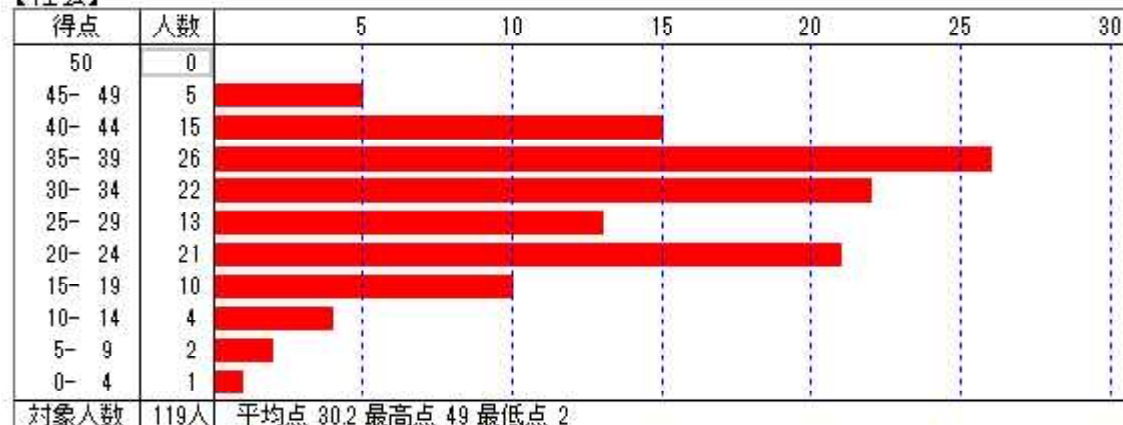
授業の大切さを感じた生徒が多かった中間テストを経て、迎えた期末テストでしたが、お子さんの取り組みは、いかがだったでしょうか。是非、お子さんと一緒に解答用紙を見つめながら、お子さんが頑張った成果を見つけてみてください。単純に考えてしまうと、学習内容の難易度が高くなっているテストでも同じような点数をとることは、前回よりも意欲的になっていたり、工夫して学習したりした成果だと考えられます。点数が下がっていても、点数として表れない頑張りがきっとあるはずです。これらが、次へのエネルギーになります。以下、度数分布表を掲載しました。

2学期中間テストは、9月28日（木）です。範囲は、「6月下旬～終業式＋始業式～9月下旬」の授業です。1学期終了までに、テスト範囲の1/2以上を終えているかもしれません。気温が高くなり、部活動は大会直前で熱が入るなど、学習に集中しにくい期間ですが、先輩たちも同じです。ここを乗り越えて、たくましく生き抜きましょう。

【国語】



【社会】



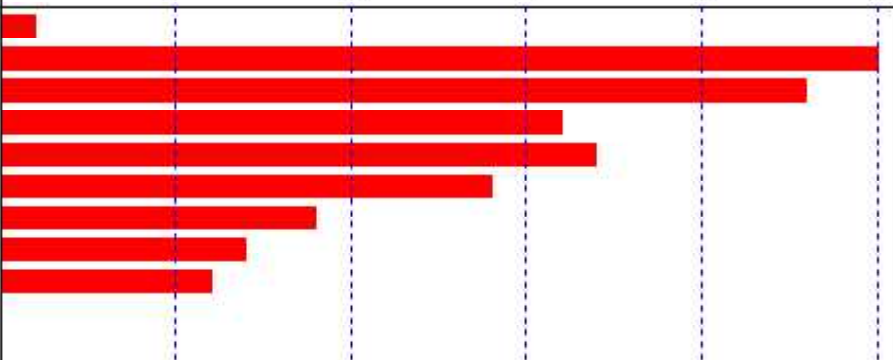
【数学】

得点	人数	5	10	15	20	25
50	4					
45- 49	15					
40- 44	21					
35- 39	24					
30- 34	9					
25- 29	10					
20- 24	17					
15- 19	9					
10- 14	7					
5- 9	3					
0- 4	0					
対象人数	119人	平均点 32.5 最高点 50 最低点 8				

【理科】

得点	人数	5	10	15	20	25
50	0					
45- 49	10					
40- 44	15					
35- 39	24					
30- 34	13					
25- 29	18					
20- 24	13					
15- 19	14					
10- 14	6					
5- 9	6					
0- 4	0					
対象人数	119人	平均点 29.4 最高点 47 最低点 6				

【英語】

得点	人数	5	10	15	20	25
50	1					
45- 49	25					
40- 44	23					
35- 39	16					
30- 34	17					
25- 29	14					
20- 24	9					
15- 19	7					
10- 14	6					
5- 9	0					
0- 4	0					
対象人数	118人	平均点 34.5 最高点 50 最低点 10				

【5教科】

得点	人数	5	10	15	20	25	30
250	0						
225- 249	2						
200- 224	22						
175- 199	29						
150- 174	18						
125- 149	16						
100- 124	14						
75- 99	9						
50- 74	5						
25- 49	3						
0- 24	0						
対象人数	118人	平均点 156.7 最高点 226 最低点 46					

下に、教科担任からのコメント掲載。今後の学習へのヒントになるかもしれません。

平成29年度 1年生1学期期末テストを終えて（教科担任より）



【国語】

漢字10問では、漢字練習ノートと日々の漢字書き取り帳にしっかり取り組んでいれば、正解できたと思います。漢字は「覚えるまで」しっかりと練習する必要があります。

「ダイコンは大きな根？」と「ちょっと立ち止まって」は、プリント「積み上げ」に繰り返し取り組み、授業でしっかりと聞くことで、正解できた問題が多かったと思います。そのため、記述が多い問題でしたが、高い正答率でした。記述問題の解答における注意事項は、①主語を入れる、②文末表現を正確にする、③指定文字数の8割以上で答える、の3点です。答え方についても、学びましょう。

【社会】

平均点が下がっても、点数を上げた生徒30名の意欲と工夫を称えます。

《地理》出題内容は「各気候帯の分布・雨温図・植生・住居、三大宗教など」でした。ぼんやりと学習したり、おおざっぱに学習したりして、分かったつもりになっている生徒が多いようです。今回のテスト範囲は、2学期中間テストにむけて「アジア・ヨーロッパについて詳細に学習する授業の基礎・基本」になります。念入りに復習しましょう。

《歴史》出題内容は「人類の出現～四大文明（中国文明など）」でした。歴史でも地図を活用したり、各種資料に注目したりして、説明できる学力を高めましょう。

《その他》①地理・歴史ワーク事前提出者、のべ72名（前回比1名減）。②自主勉強ノート提出者29名（同、33名減）、最高9ページ（同、15ページ減）。部活動の正式入部後、文武両道を目指しています。ここを乗り越え、たくましさを実感できる時期にしましょう。③7/3（月）国名・首都名（再）テストを実施する予定です。

【数学】

乗法・除法だけの計算や、加法・減法が混じった計算、乗法・除法が混じった計算では、よくできていました。累乗の計算は、2乗を2倍にしてしまったり、累乗の対象となる数が正しく理解できていなかったりしていました。忘れがちで間違いやすいところです。確実に覚えましょう。

四則や累乗が混じった計算では、例えば、「 $28 - 8 \div (-4)$ 」の問題では「 $28 - 8$ 」を先にやっちゃったり、「 $28 - (-2)$ 」の問題では「 $28 - 2$ 」として「 $-$ 」を1つ忘れてしまったりして、基本的なミスが目立ちました。1つ1つの計算段階を丁寧に進めることが大切です。また、計算法則の利用や、表から平均を求める問題など、数学的に考える問題に強い苦手感があると感じました。基礎問題集の難しい問題や複雑な問題にも積極的に挑戦して欲しいと思います。

テスト問題は中間テスト以上にかなり難しくなりましたが、全体的によくできている人が多く、家庭学習「復習ノート」を毎日こつこつと進めた結果と考えます。今後、学習内容がますます難しくなります。内容を正しく理解して、規定以上の復習ノートを進めましょう。

【理科】

全体的によく勉強してありました。花や葉のつくりでは、名前を漢字で解答できた生徒がほとんどでした。反面、2（1）⑤のように暗記ではない思考的な問題の正答率が低いです。植物や動物など自然界のつくりは、神秘的だけでなく非常に合理的なつくりもなっています。そうした部分の学びが進むと、自然科学のおもしろさがわかってきます。

夏休みの理科研究でも、「どうして～なんだろうか？」という疑問を解決する方向で取り組みめると、素晴らしい研究ができるのではないかと期待しています。

【英語】

全体的に勉強していた成果が見られたテストでした。
《放送問題》場面に適した表現をしっかりと聞き取り、確実に記号を選びました。

《表現》「自分に関すること」を丁寧に書こうと努力しました。特に、一般動詞を使用した英文は、1つ1つの意味を理解しないと解答できない問題でしたが、英文の意味を理解して、その場面に適した表現を選択し、書こうとしていました。スペルミスの多さが残念でしたが、今後はライティングノートを使用して、丁寧に1つ1つの単語のスペルを覚えれば、さらに点数アップが期待できます。採点時には、問題をきちんと読み、丁寧に書こうという気持ちが伝わってくるテストでした。

《提出課題》

テスト当日、英語学習ノートを提出しました。残念ながら生徒の半数が完璧ではないまま提出してしまいました。丁寧に1つのことをコツコツ頑張れる生徒が、英語力を伸ばします。ぜひ、1つ1つの課題に丁寧に取り組み、期日に提出できるように準備しましょう。